

2016年度「研究者の横顔」 大塚 基之先生

1. 研究者になろうとしたきっかけ

私は消化器内科医ではありますが、病気を治すだけでなく「病気を予防する」ことが、根本的な健康維持に大切だと考えています。そのためにも、基礎研究の力で、病気のメカニズムの解明に取り組むこととしました。

2. 助成研究の内容紹介

加齢は発癌の危険因子です。私は、これまでの研究で、特殊な RNA が発現すると遺伝子に傷が付き細胞が癌化することを見出しました。本研究では、加齢にともなって、この特殊な RNA の発現が増えるために発癌が増加するのでは、と考え、その検証と予防法開発に取り組めます。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

加齢に伴う発癌増のメカニズムを解明することで、高齢化が進む我が国での健康長寿に、少しでも貢献することが目標です。

4. 全国の RFL 関係者に一言

皆様の想いを忘れずに、いつか御恩返しができるように頑張ります。これからもよろしくお願いいたします。